

VISIONS

Produced by
PARADOX 創研

CONFERENCE

逆境を、進化のチャンスにする。
経営危機から企業を大転換させるブランディング

○本日のゲスト



石坂産業株式会社 代表取締役社長

石坂典子 氏



山口周 氏

はじめに

誇りある生き方をつくる。

企業の志である理念について、どう明確にするか、
どう浸透させるか、どう受け継いでいくか、
どう実現していくかなどを研究し、企業の長期的な繁栄に貢献する。

個人の志がどう芽吹き、どう育ち、どう実現していくかなどを
研究するすことによって、誇りを持って生きていく生き方に貢献する。

結果、志あふれる社会をつくることに寄与したい。

PARADOX 創研とは？

活動概要

- 調査
- 研究・ナレッジ開発
- ナレッジ・情報の提供

ゲストご紹介

○本日のゲスト



石坂産業株式会社 代表取締役社長

石坂典子 氏

アメリカに短期留学後、石坂産業に入社。2002年に取締役社長に就任する。ISO14001などの国際マネジメントシステムを導入し、会社の改革を断行。里山再生への取り組みが評価され、日本生態系協会のJHEP（ハビタット評価認証制度）で最高ランクの「AAA」を取得。その他、財界「経営者賞」（産業廃棄物処理業界では初）なども受賞している。二児の母。

○本日のゲスト



山口周 氏

独立研究者、作家、パブリックスピーカー。ライブ
ニッツ代表。電通、ボストンコンサルティンググルー
プ等で戦略策定、文化政策、組織開発などに従事。

『世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか？』
（光文社新書）でビジネス書大賞2018準大賞、HRア
ワード2018最優秀賞（書籍部門）を受賞。その他、著
書多数。

石坂産業株式会社

〈創立〉昭和42年7月

〈設立〉昭和46年9月

〈本社〉埼玉県入間郡三芳町上富1589-2

〈従業員〉約180名

《経営理念》「謙虚な心、前向きな姿勢、そして努力と奉仕」

《ミッション》「然と共生する、つぎの暮らしをつくる」

〈事業内容〉

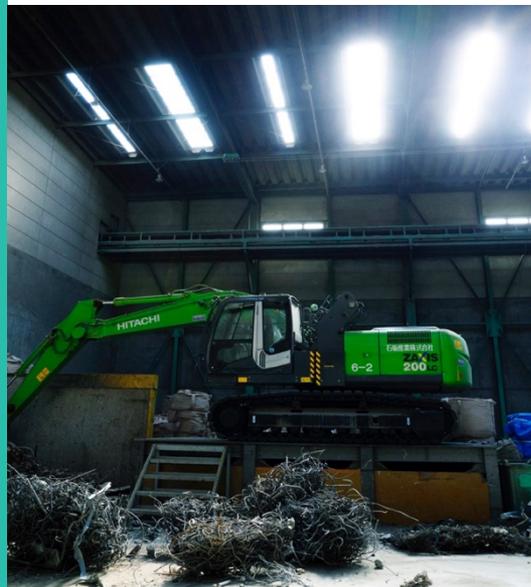
「産業廃棄物中間処理業（資源の再生～販売）」

「三富今昔村（サステナブルフィールド／環境教育）」

「石坂ファーム（持続可能な社会のための農業）」

「SATOHANA（オーガニックスキンケア）」

「里山保全」「SATOYAMAと共に生きるEXPO」など



本日のテーマ

逆境を、進化のチャンスにする。

経営危機から企業を大転換させるブランディング

○本日のアジェンダ

第1部：進化の起点となる、ターニングポイントのつくり方

第2部：VUCAの時代に、求められる力

第3部：未来を考えるキーワード「サステナブル」

質疑応答

「問い」と「皆様からの質問」に
「ゲストが回答」する形式で実施。

ご質問は随時、受け付けております。

「石坂様への質問」or「山口様への質問」と冒頭につけた上で、
ご質問内容を「チャット」にご記入ください

※時間の関係上、すべての質問にお応えできない場合があります。
ご了承ください（その場合は、MCが選定いたします）

第1部 「進化の起点となる、ターニングポイントのつくり方」

○現在の石坂産業を表現するキーワード

●減量化・再資源化率98% ●エネルギー創出 ●ICT・AIを活用した「スマートプラント」 ●クリエイターや他業種とコラボする「STARTUP LAB」 ●サステナブルフィールド「三富今昔村」 ●持続可能な農業へ「石坂オーガニックファーム」 ●次世代に美しい自然や環境をつなぐための化粧品「SATOHANA」 ●JHEP 認証「AAA」 ●SATOYAMAと共に生きるEXPO ●彩の国埼玉 環境大賞「優秀賞」 ●健康経営優良法人 ●エイボン女性年度賞「ソーシャル・イノベーション賞」 ●経営革新推進賞 ●三芳町との「連携協力に関する包括協定」 ●農業で「GLOBAL G.A.P.」「ASIA GAP」 ●40カ国から大使が来訪 ●年間4万人が来訪など

○石坂様への質問

かつて「石坂産業は出ていけ」と言われた逆境から、
驚くべき進化を遂げていらっしゃいます。

①これまでの経営を振り返って、
逆境からの転換において、ポイントになったことは何か？

②「自然と美しく生きる」というスローガンや
事業ミッションの策定は、どのような価値があったか？

| コーポレートスローガン |

自然と美しく生きる

| 私たちの使命 |

自然と共生する、つぎの暮らしをつくる

産業廃棄物処理施設で行っている資源再生事業は、ゴミを出さず、資源を循環させる暮らしを、人や企業に広め、実現していく役割を担っています。里山づくりや環境教育、多様な国・企業・人との共創による技術開発と研究、エコプロダクツやオーガニック商品、そして室礼による日々のおもてなしは、これからの地球に必要なライフスタイルをつくり、啓蒙していくことにつながっていく。地球が枯渇するのではなく、地球が育まれる。豊かに暮らすことが、豊かな地球につながる。私たちは、自然と共生する暮らしの素晴らしさを、一人ひとりに届け、世界中の文化として根づかせていくことを目指します。

○山口様への質問

企業にとってミッションとは、
「何を成し遂げるのか（使命）」という「目的」であると考えています。

①企業がミッションを明確にすることはなぜ重要か？

**②良いミッションがあるとするれば、
それはどのようなミッションか？**

第2部 「VUCAの時代に、求められる力」

○石坂様への質問

常に新しい取り組みを打ち出し、いくつもの
イノベーションを起こし続けて、未来を切り拓いていらっしゃいます。

石坂社長の発想力（着眼点）はどこから来るのか？

○山口様への質問

著書「NEWTYPE」の中で、
未来を予測するのではなく、未来を構想する力が大切とおっしゃっています。

どのように発想すれば、未来は構想できるのか？

第3部 「未来を考えるキーワード：サステナブル」



A photograph of a beach covered in plastic waste. In the foreground, two young girls are walking and holding hands. The girl on the left is wearing a blue patterned dress and holding a small yellow object. The girl on the right is wearing a light green and purple dress with a cartoon animal on it. In the background, several other people are sitting on the beach, and a few boats are visible in the water. The overall scene is one of environmental pollution.

223億1000万トン

2050年には、今の2倍の廃棄物が地球を覆う





520万ha

日本の国土の約14%にあたり森林が毎、年世界から消えている





1270万トン

漂流するプラスチックゴミが海の生態系を壊しつつある

2050年問題

●地球の気温が1.0-3.0度上昇 ●北極の永久凍土が1/2の面積に縮小する ●南極海で動物プランクトン（翼足類）やサンゴが死滅する ●アマゾンで熱帯雨林の40%（200万平方キロ）が失われる ●100万種以上の陸生動植物が絶滅する ●水不足人口が30億人に達する ●最大30%の生物に絶滅の危険がせまる ●この年から10年以内にアジアの穀物収穫量が最大で3割減少し、新たに1億3200万人が飢餓に苦しむ ●日本の人口の40%が65歳以上の高齢者になる ●人口減少によって、2040年には日本から896の市区町村が消滅する

※博報堂未来総研・厚生労働省データ等より

SDGsやESGなど、「サステナブル」であることが、
企業活動において重要視されています。

**これからの経営において
必要なのは、どのようなことか？**

○ 逆境をチャンスに変える3つのポイント

- ミッション（=企業の目的・存在意義）を問い直すことで、逆境から進化への「転換点」をつくりだすことができる。
- 未来を予測するのではなく、つくりたい未来を思い描き、明確なビジョンを掲げることが重要。
- 自社だけでなく社会にとっての「サステナブル」を考えることが、結果として会社の長期的な繁栄につながる。

質疑応答

ご聴講ありがとうございました。

アンケートへのご記入をお願いします。